

東京大学 宗教学年報

XLI

論文

戦没者遺骨に対するヴァナキュラーな態度	西村 明	1
米国におけるムスリムチャプレン	葛西 賢太	10
欧米圏の“Clinical Psychology of Religion”に関する研究の動向	今野 啓介	29
職人巻物における暦の知識 —「簞篋」の受容をめぐって—	馬場 真理子	47
トレルチの宗教的アプリアリ論再考	野川 祈	63
15世紀エチオピアにおけるマリア信仰		
—ザルア・ヤアコブの年代記と説教の読解を通して—	加藤 基	74
西欧中世初期における聖餐論の転換 —聖書解釈から論理学へ—	柴田 峻太郎	97
フランス・ロマン主義文学における「宗教的なもの」		
—宗教学的文学研究序説—	田口 哲郎	117
新宗教における感染症の語り		
—COVID-19 影響下における公式メディアを中心に—	坪井 俊樹	135
「イスラーム」概念の再構築と改宗ムスリム		
—現代ドイツ新聞メディアによる改宗者表象に注目して—	和田 知之	152
「祈り」を含む歌謡曲歌詞の特徴語の変化 —計量テキスト分析を用いて—	和田 理恵	171

研究ノート

姉崎正治フランス関係資料紹介		
—ポール・クローデル, シルヴァン・レヴィ, マルセル・モースらからの書簡—	伊達 聖伸, 古庄 匡義, アレクシ・カブリエ, 田中 浩喜	191
明治後期日本において宗教教育を行った各種学校の網羅的調査		
—1900年度各道府県の公的統計資料の分析—	高瀬 航平	216

2023年

東京大学宗教学研究室